

特集

今の小学校教育

もうすぐ
がんばり
ました

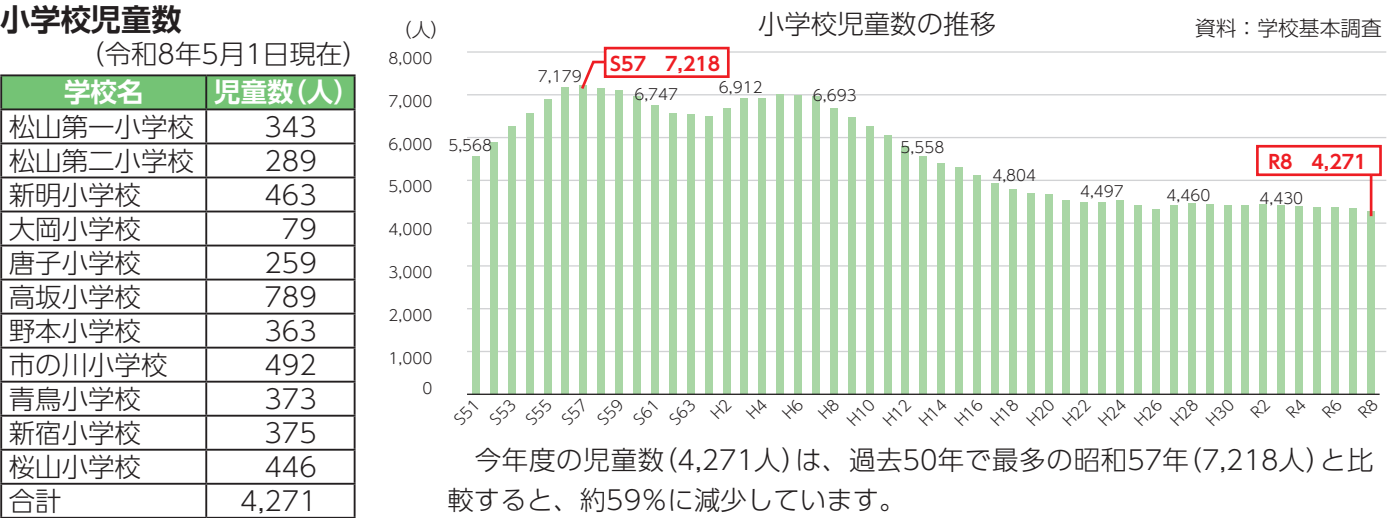
よくできました

ようすこ
ました



外国語活動の時間

誰でも思い出のある小学校での生活。
昭和、平成、令和と時代が移り変わる中、児童数の減少と共に学校教育のあり方も変わっています。
今、本市の小学校ではどのような教育活動が行われているのでしょうか。



1学級あたりの児童数は、昭和の時代に制定された「学級編成の標準」に基づき50人とされ、以後、45人、40人へと引き下げられました。平成の時代では、少子化の進行に伴う少人数教育の推進により、1学級あたり40～30人へととなりました。

現在、小学校における児童数の基準は**1学級あたり35人です**。教員の目も行き届きやすくなり、さらに、GIGAスクール構想の導入で一人1台学習用端末も活用され、学習効果が高められています。

市内小学校の協力により、今を代表する特徴的な学習活動を紹介します

朝の会

出席確認時に「心の健康観察」



毎朝、出席を確認する際に「心の健康観察」として、児童はその日の自分の心や体調の状態を天気マーク「はれ☀」「くもり☁」「あめ🌧」「かみなり⚡」のアイコンで表し、コメントを学習用端末に入力します。
教員は学習用端末に集計された学級児童の心の健康状態を把握し、一日の学習活動を始めます。

朝の会

コメント

今日は、体育じゃなくて保健なので悲しいです。

元気で楽しいから

鼓笛があり、国語も2時間もあるから。

雨も降ってはず暑くもなく寒くもないからです！

社会科

一人1台の学習用端末の活用



紙の教科書とデジタル教科書(学習用端末に紙の教科書をデータ化したもの)を状況で使い分け、学習用端末で調べながら学習しています。

学年や学習内容によっては、児童は紙のノートを使わず、学習用端末にまとめ、ノートの代わりに使用しています。



外国語活動

外国語に慣れ親しむ



英語専科の教員とALT(外国語指導助手)から発音の基礎を習います。その後、自分の好きな色“I like blue.”や好きな食べ物“I like pizza.”などを相手に伝えるように工夫しながら自分の好みを紹介します。

また、学習用端末を活用した楽しい英語クイズを通じて、児童が自然と外国語に興味・関心を持てるような活動を取り入れています。

体育

民営プールを活用した水泳学習



全ての小学校の水泳学習は、4・8・3月を除く期間、市内3か所の民営プールで実施しています。水慣れや泳力の向上を目的として、1学年につき1回2時間×4日を水泳学習としています。

天候等の影響を受けず、整備されている環境及びインストラクターの協力で、効果的な学習が行われています。

【実施施設】

- 東松山スイミングスクール[上野本]
➡松一小、唐子小、市の川小
- ヴィムスポーツアベニュー東松山[松本町]
➡松二小、大岡小、新明小、新宿小
- セントラルフィットネスクラブ24東松山高坂[あずま町]
➡高坂小、野本小、青鳥小、桜山小

書写

水書筆と特殊用紙を使って「まがり」「おれ、おりかえし」「むすび」を学習



1・2年生は墨汁を使わずに、水書筆(水を入れた筆ペン)で書きます。

特殊な紙(水書用紙)に書くと、濡れた部分の色が変化し、毛筆のような字が見えます。乾くと、字が消えるため、繰り返し練習ができます。手を汚さずに学習できるのが特徴です。正しい姿勢で一筆ずつ丁寧に書いています。

なお、3年生以上は墨汁と半紙を使った学習です。



給食

みんなが大好きな給食の時間 …給食指導 おしくいただきます



▲7月7日(火)の「七夕献立」
酢飯、子ぎつね寿司の具、牛乳、星のコロケ、天の川スープ
(天の川に見立てた魚肉麺と短冊切りにした野菜、星型のかまぼこ入り)

栄養バランスのとれた給食を提供しています。
児童は「盛りつけ表」「食育だより」を通して、毎月の一押しメニューの内容や食育の大切さを学習しています。
また、毎月19日は「食育の日」として「世界の料理」と「日本各地の郷土料理」を取り入れています。
このほかに学校リクエスト献立、行事食として、イベントメニューなどの日があります。

《学校給食センターに聞きました》

※毎年のリクエスト献立希望調査より

○人気献立(メニュー)ベスト3は？

→1位：ナムル 2位：唐揚げ 3位：豚汁(児童)
同3位：みそラーメン(教員)

○「世界の料理」で、好評だった献立は？

→バターチキンカレー(インド)

○「日本各地の郷土料理」で、好評だった献立は？

→チキン南蛮(宮崎県)



特別活動

縦割り活動(異学年との交流)



社会性や責任感を育む活動です。
縦割り活動では、6年生が中心となって企画した、楽しい活動に取り組みます。
「へびじゃんけん」「じゃんけん列車」「ばくだんゲーム」「なぞなぞ」「宝探し」など、学校によって工夫されています。

総合的な学習の時間

自ら課題を見つけて解決する「探究力」を養う



各学校で、特色ある教育活動に取り組んでいます。
桜山小では、校区特色の里地里山を守る人たちの思いにふれ、体験を通して自然環境について考えます。
県子ども動物自然公園内の「やとこの里」の田んぼで、田植えを体験しました。職員から稲の苗を植えるときの持ち方や指の使い方などの説明を聞いた後、泥特有の感触に驚き、足をとられながらも腰をかがめ、全身で稲作について学習しています。

家庭科

今でも変わらない裁縫実習



針を使った手縫いの基礎について、どのような用具や方法で縫うのかを学習します。玉結び、玉どめから始まり、なみ縫い、本返し、半返し、かがり縫い、ボタン付けを行います。
5年生では自分用のエプロンを、6年生ではナップザックなどをミシンも使いながら作ります。
また、手縫いの練習には、学校応援団の保護者が、ゲストティーチャーとして指導のお手伝いに参加しています。

次世代を担う2年目の教員にお聞きしました

教育の現場から



松山第一小学校教諭
はら さくら
原 桜子さん

☆教員を目指したきっかけは何ですか？

幼い頃から教育という仕事を身近に感じる環境で育ち、こどもたちの学びや心の成長を支える小学校の教員に魅力を感じるようになりました。
高校や大学で小学生と関わる中で、その思いがさらに強くなり、小学校の教員を志しました。

☆教員の魅力は何ですか？

私もこどもも毎日新しい発見があり、一緒に喜んだり悩んだりできることが魅力だと感じています。こどもたちの「できた!」という瞬間や、達成感に満ちた笑顔に触れるたびに教員という仕事のやりがいを感じます。

☆仕事で大変なことは何ですか？

仕事で一番大変なのは授業の準備です。今年度は昨年度より担当教科が増え、準備に時間をかけることが多くなりました。こどもたちにとって楽しく分かりやすい授業ができるように日々工夫を重ねています。

☆今後どのような教員になりたいですか？

こどもたちが「学校が楽しい!」と思えるような学級を作る教員になりたいです。一人ひとりの気持ちに寄

り添い、安心して過ごせる環境づくりを大切にしていきたいと思います。

☆仕事で疲れた時、リフレッシュ方法がありますか？

仕事で疲れた時は旅行に出かけます。美しい景色やその土地ならではのおいしいものに触れると気分転換になり、また頑張ろうという気持ちになります。旅行で得た経験はこどもたちとの会話の話題になりますし、授業や学校生活に生かせるので、それも楽しみの一つです。

☆好きな給食は何ですか？

みそラーメン、ナポリタン、カレー、揚げパンなど、たくさんあります!



☆教員を目指している人へ一言お願いします!

私もまだまだ学ぶことばかりですが、こどもたちと過ごす毎日は多くの気付きや学びがあってとても楽しいです。不安なこともあると思いますが、自分らしさを大切にしながら、今しかできない経験をたくさん積み重ねていってください。

地域の皆さんと一緒にこどもを支えています

学校応援団をご存知ですか？

学校における学習活動、安全・安心確保、環境整備などに、ボランティアとして協力・支援をいただく保護者や地域の皆さんによる活動組織です。
学校と地域が教育目標やビジョンを共有し、地域のこどもたちを共に育てていこうというものです。

地域の学校でご協力いただける人は、各小学校へご連絡ください。

《具体的な活動》

- ①授業補助(裁縫・ミシンボランティア)
- ②読書推進活動(読み聞かせボランティア)
- ③草刈りボランティア
- ④環境整備活動(花壇での花育ボランティア)
- ⑤登下校の見守りボランティア
- ⑥イベントの企画・運営 など



学校教育は時代と共に変化しています。掲載した教育活動のほかにも、各学校では一人ひとりへのきめ細やかな学習指導により、確かな学力の向上のための取組が行われています。
また、教育には、学校・家庭・地域のつながりや協働が大切です。これからも本市の学校教育に皆さんのご理解とご協力をお願いします。

特集に関する問合せ
学校教育課
☎21-1429
FAX 23-7255